

『地理言語学研究』 *Studies in Geolinguistics* モノグラフ投稿要領 [2024 年度]

1. 概要

- a) おおむね 100 ページ以上の単著または複数の著者によるモノグラフを公募する。
- b) 特に提出期限は設けず、適宜受け付ける。
- c) 世界諸言語を対象とした未公刊のオリジナルな研究で、以下の条件を満たすものが望ましい。
 - ・言語地図を使った研究であること。
 - ・個別の言語特徴を類別した記号により表した図を含むこと
 - ・言語特徴の地理分布に即してその形成過程を論じた内容を含むこと。これらの条件を満たせば、他に関連分野の内容が含まれていてもよい。
- d) このほか、既刊モノグラフに倣い、個人または複数の著者による論文集、翻訳、及び地理言語学に資する貴重な一次言語資料、科研費報告書等を認めることがある。
- e) モノグラフの投稿時には、別途英文による「著者名」「所属」「要旨」「キーワード」を記したファイルを添付すること。
- f) 採否については世話人会が決定し、改善意見を出すことがある。

2. 投稿資格

- a) 日本に在住する者は誰でも投稿できる。
- b) 日本国外に居住する者は日本在住の紹介者を必要とする。問題が生じた場合は紹介者が解決に協力する。

3. 法規と研究倫理

- a) 日本の著作権法と研究規範を遵守すること。違反するものは採用を取り消す。
- b) 投稿者はインターネットによる複製権と公衆送信権を本学会に対して許諾したことになる。
- c) 問題が生じた場合は、投稿者が全面的に責任を負い、本学会は発行を取り消す以外は一切の責任を負わない。

4. 使用言語

- a) 原則として日本語または英語とするが、既刊モノグラフに倣い、他の言語を認めることがある。
- b) 論文集の場合は、各論文の英文要旨を含むことが望ましい。
- c) 非母語による執筆は、必ず当該論文の専門性に対応できる母語話者による校正・チェックを経ること。

5. 発行形態

- a) 電子出版のほか、希望する場合は自己負担にて MyISBN (<https://myisbn.jp/>) から紙版の発行もできる。
- b) 電子出版のみの場合は B5, A5 ともカラー図版を入れることができる。
- c) 紙版の発行も希望する場合、A4 だと白黒図版のみとなる。カラー図版を入れる場合は B5 とすること。
- d) 頁数の制限は設けないが、版面は合理的に使用して、必要にして十分な記述を旨とする。分量が多いものは適宜分冊とする。500 頁を超えるものは必ず分冊にすること。

6. 版面の形式

- a) 原稿は学会誌『地理言語学研究』 *Studies in Geolinguistics* のテンプレートを利用すること。
- b) 但し、内容に応じて適切な版面を採用してもよい。また、地理言語学に資する貴重な資料(手書きのものを含む)については、スキャンして収めることを認める。
- c) 表紙と奥付などについては統一的な形式を定めるが、それ以外はそのまま発行するので完成原稿を提出すること。校正のプロセスはない。

7. 提出方法, 原稿送付先

- a) 原稿は pdf で送信する。着信すると自動的に通知が届く。
- b) 原稿送付先: gsjhenshu [at] yahoo.com ([at]を@に変えてください)
- c) 採否は世話人会の合議により決定し、提出より 3 ヶ月以内に採否の通知が送られる。

8. 発行時期と公開方法

- a) 採択後遅くとも 3 ヶ月以内に ISSN 付きの pdf 版が zenodo にアップされ、DOI も賦与される。本学会ウェブサイトはそのリンクが公開され、誰でも無料でダウンロードできるようになる。
- b) zenodo はクリエイティブ・コモンズ Ver.4 に準拠しているので、著者は投稿した時点でその条件も受諾したこととなる。
- c) 紙版の刊行を希望する場合は、著者の責任で MyISBN (<https://myisbn.jp/help>) に発行委託し、所定の手数料を払う。その印税は著者に帰属する。共著については MyISBN に申し込みをした代表者の采配による。表紙ないし奥付には本学会モノグラフの表示が入る。

9. 改定

本要領は世話人会の議を経て改定されることがある。本学会ホームページの最新情報を適宜参照されたい。